

「新たな市場の開拓」「売上の増加」「他社との差異化」「企業イメージの向上」「従業員の定着率向上」等、SDGs へ取り組むことで得られるビジネスチャンスもあり、SDGs 経営への関心も高まっています。

当所では、会員事業所の皆様の SDGs 経営のサポートとして、東京海上日動火災保険（株）の協力を得て、『SDGs 取組診断』サービスを無料で実施しており、当所ホームページよりお申込みいただけます。

また、本実践例紹介コーナーの記事も初回から当所ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

今月のSDGs実践例紹介：株式会社沖野製作所



STEP
01

きっかけ

きっかけは会議所からの専門家派遣についてのご紹介です。もともとSDGsの取り組みについては知っていましたが、あまり弊社の社風と合うものではないと感じていたため、敬遠していた部分がありました。しかし、会議所担当者さんからの熱心な勧めもあり、話だけでも聞いてみようと思われ受け入れるに至りました。

STEP
02

2つの秘訣

①自社の取り組みを明確化する

専門家とのヒアリングでは、徹底的に自社の取り組みについて聞かれました。自分の中で当たり前だったことが、専門家の目線を通じて話を聞いてもらうと、その意義や効果が明確化されていき、新たな発見がありました。自社だけで考えているよりも外部からの意見をもらえることは収穫でした。

②取り組みきっかけを見つける

以前から会社としてBCPなどは必要だと考えていたのですが、やや取り組みきれていない部分がありました。今回の専門家派遣によって、その取り組みを具体的に進めるよい機会になったと思います。ひとりで悩むよりは専門家にリードしてもらったことですねと進められていると思います。



STEP
03

結果

自社の取り組みをSDGsの枠組みの中に落とし込むことができ、明文化できたことは大きかったと思います。もう少し取り組みを整理できた段階で、社員にも共有し全社的な取り組みに仕上げていきたいです。さらに今後「健康優良法人」の認定を受けるといった目標もできましたので、ブランド力向上に向けて邁進したいと思います。



企画例

■ 従業員と共に

従業員一人ひとりを最も重要な経営資本と捉え、従業員と共に成長する企業を目指す。



■ 地域雇用と安心安全な就労環境

日本の流通を支えるロジスティクス（倉庫）のFA機器用部品及び電線ハーネスの製造を通して、地域雇用を拡大すると共に、安心して働ける就労環境を整備する。



■ カーボンニュートラルの取り組み

成長により地球環境がトレードオフとならないよう、脱炭素社会の実現に精一杯協力する。



■ 今後の取り組み

- ① 2027年度までに事業継続計画（BCP）を策定し、災害時における地域と事業の復興に備える。
- ② 2027年度までに健康経営優良法人の認定を取得する。
- ③ 事業活動における二酸化炭素（CO2）排出量を算出、削減すると共に、リサイクル業者による廃材回収100%を継続する。



代表取締役
沖野 仁志

会社概要

事業所名 株式会社沖野製作所
所在地 愛知県小牧市久保一色 3236-8
電話番号 0568-73-6080

機械金属加工業として昭和30年に創業、のちに電線・ケーブル加工部門を設立し、半世紀に渡ってお客様の要望へ技術で応えるモノづくり企業。地域雇用と就業環境の整備に力を入れており離職率が低いことも特徴で、地域に根ざしつつも時代の流れに対応しながら事業を行っている。

中小企業支援ナビ代表理事

中小企業診断士

SDGs や BCP などは本業に直接関係ないと思われるケースが多いですが、今回のように外部専門家との話の中から新ビジネスのアイデアが生まれる事はよくあります。当社の電線ケーブル事業も、災



害時に命を守る生命線事業と捉え、次世代の新たな展開が見えて来そうですね。

長谷川 雅彦